

第 22 回 東日本大震災支援全国ネットワーク 世話団体会 議事録

1. 開催年月日： 2013 年 6 月 12 日（水）
2. 開催場所： 日本 NPO センター 会議室
3. 出席者： 総数 8 名（事務局を除く）

◇ 出席代表世話人（3 名）

栗田暢之 NPO 法人 レスキューストックヤード
田尻佳史 認定 NPO 法人 日本 NPO センター
山崎美貴子 「広がれボランティアの輪」連絡会議

◇ 出席世話団体（5 名）

田島誠 認定 NPO 法人 国際協力 NGO センター
松原明 NPO 法人 シーズ・市民活動を支える制度をつくる会
尾崎靖宏 日本生活協同組合連合会
青柳光昌 公益財団法人 日本財団
池本修悟 一般社団法人 ユニバーサル志縁社会創造センター

◆ 欠席世話団体（5 団体）

社会福祉法人 中央共同募金会
東京災害ボランティアネットワーク
公益社団法人 日本青年会議所
公益財団法人 日本 YMCA 同盟

4. 議事

【議題 1】 報告事項

福島現地会議について

今回は南相馬で開催する。次第は、1) 南相馬の担い手の声を聞く、2) 次の
一歩を考えるディスカッション、3) 交流タイムの 3 部構成。現在の参加申し
込み状況は 20 名程度。

今後の現地会議について

6月に福島、7月に岩手、8月に宮城と月に1回の開催スケジュールを組んでいる。各回、冒頭の挨拶に世話団体からご登壇をお願いしたい。

福島県委託事業について

各地に地域調整員を配置し、避難者の状況を収集し発信する事業。これまではJCNは支援団体をネットワークしていく立場でやってきたが、この事業ではそういった団体さんと一緒に避難者を直接支援するためのウェブをつくる。地域調整員の配置は、先月から調整を始めている。すでに調整済みの地域については、6月から情報収集を開始し、7月中旬にはウェブに公開する予定。

広域避難者支援活動

今年度は「キーパーソン会議」を開催していく。初回は5月に開催済み。

広域避難者支援ミーティングは7月に東京で開催する。会場は日本財団さんの2回会議室。来週内容を決めて告知に移る。

7月には全国版のミーティングを実施する。オープンの部とクローズドの部の2つで構成する。

アンケート調査を実施した。昨年度は支援団体を対象に行ったが、今年度は市区町村の社会福祉協議会を対象に実施した。回収率は約半分。7月ごろには報告書として公開する予定。全国版のミーティングには間に合わせたい。

【議題2】 検討事項

事項1. JANIC ふくしま協働スペースについて

(出席者 A) :

来年度以降のふくしま協働スペースをどうするかを協議することになった。複数の団体で共同運営する方向で考えているが、JCNの福島担当の拠点として使用することは考えられるか。

(事務局 B) :

正確な費用を確認して事務局で検討する。

事項 2. 省庁との連絡会議について

(出席者 C) :

自民党 NPO 特別委員会で復興庁岡本統括官から「復興庁と NPO の協議の場をつくる」とのコメントを受け、復興庁とシーズが協議して毎月 1 回協議の場をつくる。NPO 側の参加者は 20 名以内。場所は復興庁。要望書を事前に配布して、呼んでほしい省庁、関連法令も併せて明記し、当日協議する。性格上メインストリームは「NPO が支援・復興活動上困っていること」。「被災者の声」がメインではない。実施後は自民党 NPO 特委に報告することになる。初回は 7 月上旬に予定。ネット中継は出来ない。実施上のルールはシーズと復興庁の協議で決めていく。

(事務局 D) :

事務局がやるべきことはなにか。

(出席者 C) :

事務局は、現地の状況や NPO の課題を広く集める努力をしてほしい。要望の切り分けは制度チームがやる。事後のアウトプットは議事録の形式だと公開まで時間がかかるので、質問回答の一覧としたい。公開は JCN が行う。

5. その他

次回の世話団体会は、8 月 21 日（水）とする。